



選ばれるまち。いな、いなべ。

INABE BRAND 2020

CHECK!

いなべ市の魅力的なモノ、
コト、行政サービスをご紹介します

三重県いなべ市

THIS IS INABE BRAND

選ばれるまち。いなな、いなべ。



この冊子は、これまでの活動をまとめたものです。既に全国的な行政サービスとして普及したのものも含まれます。



INNERBAY

いなべブランドロゴ

INABEのIとBの文字をモチーフに、人と人が支え合う姿と、青は豊富な水が流れる員弁川、オレンジは躍動する市民の活力、緑は自然豊かな大地を表現しています。

THIS IS INABE BRAND

選ばれるまち。
いなな、いなべ。

Contents

ブランドの目的	6
既存ブランド事業	10
● ママ元気 赤ちゃんすくすく	11
● どこでも子育て支援！	12
● 生きる力をつなげるチャイルドサポート	13
● 検診、発見、元気なからだ	14
● 健診受けて湯かった	15
● 「からだ」も「地域」もゲンキに！～元気リーダー始動～	16
● 「元気づくり」は「地域づくり」！いなべから全国へ	17
● 住み慣れた地域で安心した生活を	18
● 美しい水環境の創出	19
● 地域のHERO消防団	20
● 納税意識の高いまち いなべ	21
● どの子もわかり参加できる授業づくり	22
● 地域と共に育つ学校	23
● ICTで学びをサポート	24
● 9年間の学びと育ちを見据えた教育を	25

Contents

- ふるさとの川にすむネコギギを守ろう 26
- プールで育む子どもの元気～安全と笑顔～ 27
- 全国初！楽器を寄附するふるさと納税 28
- 世界のプロサイクリストが集うまち いなべ 29
- 「いなべの里の蕎麦」全国への挑戦 30
- 青川の清い流れと緑で…元気注入！ 31
- 農業公園発！スローライフとロハスな暮らし 32
- まちづくりの拠点施設 にぎわいの森 33
- リンクでつなげよう市民の輪 34
- YouTubeでシティプロモーション 35
- 先進的文書管理「ファイリングシステム」 36

終了したいなべブランド事業 37

いなべ市について 40

THIS IS INABE BRAND

ブランドの 目的

いなべブランドの目的

長期ビジョン

住みたいまち・住み続けたいまち いなべ
挑戦する人が集う 元気あふれるまち いなべ

短期ビジョン

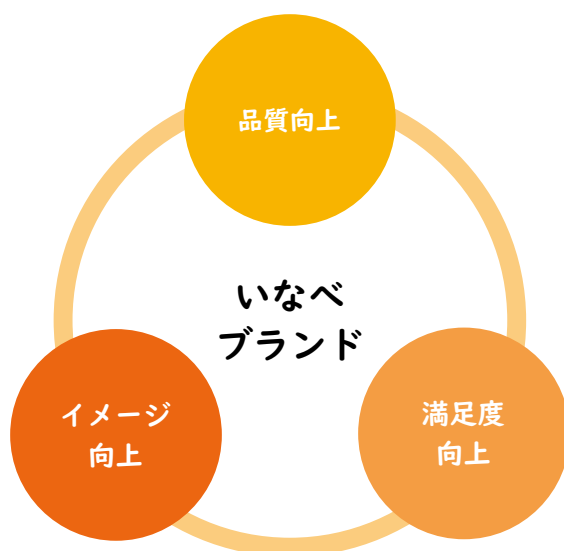
市民の満足度向上
市内外のいなべ市に対するイメージの向上
(人、企業、団体、自治体)

いなべ市が目指す長期ビジョン



平成27年度策定の「いなべ市まち・ひと・しごと創生総合戦略計画」に基づいて、いなべ市民やいなべ市を訪れた人に『いなべ市は本当に「いなべ！」と実感していただけるように、いなべブランドと言われる先進的な行政サービスを創造し、提供し続けることで、ひと・まちも元気な活力あふれるまちを目指しています。

いなべ市が目指す短期ビジョン



品質向上のために

いなべブランド事業は、市役所のサービスをより向上しようとチャレンジや改善を重ね続けた結果、生まれました。いなべブランド事業を創り磨き上げることで、更なる品質向上につなげます。

満足度向上のために

いなべブランド事業を創り磨き上げる。それは高品質を約束し、信頼関係を築き上げ、市民満足度を向上させることです。

イメージ向上のために

まちのイメージは、人が「住み」「訪れ」、企業が「進出する」うえで重要な要素です。このイメージは市役所のサービスの優劣によっても大きく左右されます。ブランド事業を発信しイメージ向上につなげます。

基本姿勢

行政サービスの品質向上に向けて
創意工夫(挑戦)し続ける

SDGsといなべブランドの推進

いなべブランドとは、行政サービスの品質向上に向けて創意工夫（挑戦）し続ける活動とその理念に照らし合わせて市が認定した行政サービスです。

国連サミットで全会一致で採択された、17の国際目標であるSDGsを共通のものさしとして、いなべブランドの各事業にSDGsの視点を取り入れました。このSDGsをキーワードにいなべブランドを推進していくことによって、持続可能なまちづくりの推進を図ります。

市民の満足度向上、市内外のいなべ市に対するイメージの向上を図り、「住みたいまち・住み続けたいまち（信頼と絆）」、「挑戦する人が集う元気あふれるまち（元気・活力）」を実現します。

いなべブランド確立イメージ図

いなべブランドにSDGsの視点を取り入れ、いなべの魅力を作り・育てます。



THIS IS INABE BRAND

既存ブランド
事業



ママ元気 赤ちゃんすくすく

こんにちは赤ちゃん訪問事業

事業開始年月日 平成15年12月1日

こんなところが
「いなべブランド」

健康や病気に関する“専門家”保健師が、乳児（おおむね生後2か月から4か月）がいる全ての家庭を訪問します。赤ちゃんの成長や健康はもちろんのこと、ママへの質問票（EPDS※）でママの安心もサポート。日本公衆衛生学会の優秀演題、NHK「おはよう日本」での紹介等、トップランナーとしての取り組みが高く評価されています。

※エジンバラ産後うつ病自己調査票

事業概要

保健師は、看護師の資格に加え、病気やけがの予防を手助けする国家資格をもった健康や病気に関する専門家スペシャリストです。担当課に保健師資格をもった職員を配置しています。

予防接種、母子保健事業（健診・育児相談等）等の情報や、子育て支援センター、保育園等、赤ちゃんの成長に応じた情報を提供します。また、ご家庭にあった子育ての方法をママと一緒に考えます。

保健センターが出来たことにより、ママ達が保健師のところへ足を運んでくれることも増えました。下記のように、ほぼ100%のママと赤ちゃんが保健師が関わっています。

育児不安の強いママや支援の必要なお子様に対しては、各課や関係機関とも連携し、訪問や電話相談等、成長に応じて継続的に支援します。

○何故、赤ちゃん訪問！？

子育ては、初めてでも、2人目でも、不安が一杯で気づかないうちに産後うつ状態に陥っていることもあります。だからこそ、子育て中のお宅へ訪問し、悩みを積極的にお聞きし、専門的なアドバイスにより不安の解消のお手伝いをします。また令和元年に

■こんにちは赤ちゃん訪問の状況

	対象者	訪問実施	訪問率
H27	385件	385件	100%
H28	385件	385件	100%
H29	306件	301件	98.4%
H30	314件	305件	97.1%
RI	308件	290件	94.2%



赤ちゃんの発達確認



赤ちゃんの身長計測



母子健康手帳の確認

評価・
マスコミ
紹介等

- ・全国CR-1グランプリ（H22年）優秀賞
- ・日本公衆衛生学会（H21年）優秀演題
- ・三重県公衆衛生学会（H20年）奨励賞
- ・NHK「おはよう日本」（H19年）放送
- ・厚生労働省全国都道府県児童福祉主管課長会議で紹介（H19年）

お問合せ

健康こども部 健康推進課
電話 0594-86-7824
FAX 0594-86-7864
住所 いなべ市北勢町阿下喜31

3 すべての人に
健康と福祉を4 質の高い教育を
みんなに

どこでも子育て支援!

各種子育て支援事業

事業開始年月日 平成17年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

満2歳までに全ての親子に2回絵本を読み聞かせ、1歳の誕生日に足型をプレゼント。保育士が合計3回面談し、子育て家庭の孤立化を防ぎます。常設の子育て支援センター5か所に加え、様々な出前メニューが自慢。保育士が地域へ積極的に出向いて子育てを支援する日本で唯一!子育て支援専用軽自動車(キャンピングカー仕様)「おでかけGo(号)」は、人と人をつなぎ子育ての輪を広げる強力なツールです。

事業概要



① 出生前
子育てガイドブック



② 6か月
ブックスタート



③ 1歳
1歳おめでとう訪問



④ 2歳
ブック・Reスタート



⑤ 子育てランド (※イメージ)



⑥ 出前ひろば



⑦ 子育て応援団

① 子育てガイドブックを妊娠届や出生届の際に配布します。

②④ 子育て応援団が子育て支援センターで絵本の読み聞かせをします。参加できなかったお宅へは保育士が訪問し、絵本をプレゼントします。

③ 保育士が全戸を訪問して足型をプレゼントします。

⑤ 2歳児を対象に保育園を開放し、保育園の雰囲気を楽しむ、親同士の交流の場を提供します。

⑥ 「おでかけGo(号)」におもちゃをたくさん積んで地域の公民館、公園等に出向きます。

⑦ 地域で支えあう子育ての輪がさらに広がるよう地域住民が子育てを応援します。

評価・
マスコミ
紹介等

・H23年度 おでかけGo(号) NHKニュース845、ほっとイブニング、CBCラジオ等で紹介
・H22年度 出前テントひろばの様子が第2回子育てひろば0123育ちの詩 フォトひろば物語入選
・H21年度 各種子育て支援施策 内閣府HP「わがまちの子育てお国自慢」で紹介

お問合せ

1 健康こども部 児童福祉課
電話 0594-86-7821
2 健康こども部 保育課
電話 0594-86-7823
3 健康こども部 健康推進課
電話 0594-86-7824
(共通)住所いなべ市北勢町阿下喜31
FAX 0594-86-7864



生きる力をつなげる チャイルドサポート

チャイルドサポート事業

事業開始年月日 平成21年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

子どもの健やかな育ちのために、市部局間の垣根を取り払い創り上げたシステムです。子どものライフ・ステージに合わせ、母子保健・保育・教育・障がい福祉の各部門が連携。発達に支援を要する子どもを、出生から就労まで途切れなくつなぎ、支援します。

事業概要

○見つける

- 母子保健・保育園・子育て支援センターが連携し、支援が必要な子どもに、より早く支援できる活動を行います。

○見守る

- 乳幼児健康診査や発達相談・就学相談の結果、必要と思われる子どもには保育園と保健師・発達アドバイザー等が連携して支援や見守りを行います。
- 3～5歳が在籍する市内の全保育園で、三重県が開発した統一の手順により子どもの発達状況を確認します。

○支援する

- 発達状況により、支援が必要と思われる子どもには保育園が個別の指導計画を作成し支援を行います。
- 丁寧な支援が必要と思われる子どもには、保護者の同意の下、未就園児には健康推進課が連携して、在園児には保育課・発達支援課・社会福祉課が連携・協働して、通級型の療育教室を行い支援します。

○つなげる

- 得意なこと、苦手なことを含めて、子どもの姿

を保育要録として保育園から小学校に引き継ぎます。

- 小中学校では、教育支援委員会の意見や保育要録を基に校内委員会で検討し、子どもの状況に合わせた特別支援教育を推進しています。
- 支援を要する子どもには、その特性や保護者の願いを引継ぎ、より良い支援が受けられるように相談支援ファイル（ハピネスファイル）を活用します。

○高める

- 保育園の特別支援保育コーディネーターと、小中学校の特別支援教育コーディネーターが連携するとともに、合同で研修を行っています。
- 保育園や小中学校では、各種巡回相談・研修・指導を充実させています。
- 保護者、保育士、教員等、子どもの支援者を援助するために、発達支援課に専門職員（公認心理師・言語聴覚士・作業療法士等）を配置しています。



相談支援ファイル
「ハピネスファイル」



通級型小集団療育教室

評価・
マスコミ
紹介等

- H30・31年度・R2年度文部科学省「切れ目ない支援体制整備充実事業」を実施。
- H28年9月、県政チャンネル「輝け！三重人」でチャイルドサポート事業が紹介されました。

お問合せ

健康こども部 発達支援課
電話 0594-86-7825
FAX 0594-86-7864
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



検診、発見、元気なからだ

保健検診事業

事業開始年月日 平成15年12月1日

こんなところが
「いなべブランド」

市民の高い健康意識と、忘れずに、いつでも、どこでも、必ず検診できるきめ細やかなサービスにより、平成26年度がん検診受診率三重県1位（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん）と同3位（乳がん）。市民の健康増進に大きく貢献しています。

事 業 概 要

「検診車ドック」「病院ドック」「各種がん検診」のそれぞれの検診で、がん検診を実施しています。毎年3月初旬に受診希望調書を各個人に郵送し、各検診受診希望者の把握を行い、検診時期が集中しないようにしています。希望される全ての人に受診していただけるよう、また、受診者の負担が出来るだけ軽くなるよう、次のような工夫をしています。

- ① 本年度に受診した人には、翌年度新たに申し込みをしなくても自動的に受診できるようにしています。
- ② 受診者の都合による日程変更にも柔軟に対応できるようにしています。

- ③ 国民健康保険加入者には、がん検診と特定健康診査（国保事業）が同時に受診できる総合検診（人間ドック）として、検診車ドックと病院ドック（いなべ総合病院・日下病院・ヨナハ総合病院）が選択できるようにしています。

- ④ 「各種がん検診」は、申し込んだ全て（肺がん検診以外）の検診を同日に受診できるようにしています。

- ⑤ 子宮頸がん検診は病院と提携して1人でも多くの方が受診できるようにしています。

■平成29年度地域保健・健康増進事業報告

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
いなべ市	25.4%	17.8%	21.0%	27.2%	31.3%
県	12.3%	8.0%	9.2%	20.4%	18.0%
国	8.4%	7.4%	8.4%	16.3%	17.4%



検診に訪れる市民の皆さん



天候に左右されることなく、バスで受診できます

評価・
マスコミ
紹介等

中日新聞(H23年3月18日掲載)
H21年度三重県内全市町のがん検診受診率
1位 乳がん、子宮がん、胃がん、肺がん
2位 大腸がん

お問合せ

健康こども部 健康推進課
電話 0594-86-7824
FAX 0594-86-7864
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



ゆ 健診受けて湯かった

特定健康診査事業

事業開始年月日 平成25年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

健診の受診者に阿下喜温泉の利用券「お得（とく）ーポン」をプレゼントし、健康増進に積極的に取り組む市民を応援しています。

また、医療費分析により健康課題を見つけ出し、保健指導に活かしているのも特徴です。

事 業 概 要

特定健診は生活習慣病のリスクを早期に発見するためのものです。大切な健診なのですが、国民健康保険加入者の健診受診率は全国的にも低く、どうしても皆さんに健診を受けてもらえるか、各市町では工夫を凝らしています。

市民の健康意識が高い当市は、特定健診の受診率が県内でもトップクラス。しかし、それでも受診率は50%ほどです。

健診を受けて、自分の健康管理を自ら取り組む人に対しては、インセンティブとして何か特典をという思いから、平成25年度から「健診受けて湯かった事業」を実施しています。

国民健康保険特定健診受診者へ「お得ーポン」を配布し健康増進に積極的に取り組む人を応援しています。

お得ーポン:健康増進施設阿下喜温泉入浴券2枚・トレーニングルーム利用券1枚、ラフィーラ体操利用券1枚(1,700円相当分)

平成30年度お得ーポン利用者は延べ3,400人でした。

○糖尿病を知る集い

医療費を分析したところ、いなべ市では糖尿病に焦点を当てた対策が必要であると判断しました。そこで、特定健診の結果を元に健康推進課と連携し糖尿病予備軍の人に、特定保健指導教室「糖尿病を知る集い」を開催しています。

健康推進課が食事・運動の管理等を指導し、保険年金課はデータの分析等で保健指導をサポートしています。参加者は楽しく学びながら生活改善に取り組み、成果をあげています。

■平成30年受診率

	受診率
全国平均	37.5%
三重県平均	43.7%
いなべ市	50.5%



お徳ーポン



岩風呂



トレーニングルーム

お問合せ

市民部 保険年金課
電話 0594-86-7811
FAX 0594-86-7863
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



「からだ」も「地域」もゲンキに! ～元気リーダー始動～

元気づくりシステム | 健康増進事業 2 介護予防事業

事業開始年月日 拠点コース 平成14年4月 集会所コース 平成19年4月
元気リーダーコース 平成20年10月

こんなところが
「いなべブランド」

健康増進と介護予防を目的に、体操を自治会の集会所等で実施。参加者は運動習慣によって体も心も健康になり、地域活動にも積極的に参加するようになって地域を元気にしています。所定の回数を受講した「元気リーダー」が指導者となり、地域の中で「元気づくりシステム」を広げています。医療費を抑えながら元気な生活がおくれ、地域のマンパワーを活用した仕組みが高く評価され、第3回健康寿命をのばそう！アワードで「厚生労働大臣 優秀賞」を受賞しました。

事 業 概 要

元気づくりシステムは、ストレッチ体操、ウォーキング、ボール運動等を取り入れた健康増進、介護予防体操です。介護予防体操は、運動器の機能向上を主な目的とした体操で「一般社団法人 元気クラブいなべ」のオリジナルです。コースは、大きく分けて「①拠点コース」、「②集会所コース」、「③元気リーダーコース」の3コース。

①拠点コース…

市内の体育館等の4施設で1回2時間程度の運動を実施

②集会所コース…

指導員が集会所まで出向き、運動を中心に1回90分間、週2回6か月間実施103地域で実施（令和元年度末）

③元気リーダーコース…

集会所コースを終了した参加者のうち、30回以上受講した人が「元気リーダー」となります。集会所コース終了後も、引続き集会所でストレッチ体操、ウォーキング等の指導者となって活躍します。

住民自立型 84 地区・元気リーダー 900 人
（令和元年度末）



「幸せを呼ぶまち いなべ」～みんなで歩けばまちがつながる～
オープニングセレモニーでの元気リーダーの体操
【阿下喜温泉あじさいの里体験ホール】



元気リーダーによる活動の様子【北勢町東町地区】

評価・
マスコミ
紹介等

- ・東海北陸厚生局主催「地域包括ケア市町村セミナー」で事例発表（H29年1月）
- ・日本公衆衛生学会で当事業を発表／第74回シンポジウム方式による発表（H27年11月）
- ・第3回健康寿命をのばそう！アワード（H26年度）／「厚生労働大臣 優秀賞」受賞（介護予防・高齢者生活支援分野 自治体部門）
- ・㈱日本総合研究所「事例を通じて我がまちの地域包括ケアを考えよう」で紹介（H25年度 厚生労働省補助事業）
- ・厚生省介護予防強化推進事業（H24・25年度）
- ・総務省定住自立圏地域医療連携推進調査事業（H24年度）

お問合せ

1 福祉部 長寿福祉課
電話 0594-86-7819
FAX 0594-86-7865
2 健康こども部 健康推進課
電話 0594-86-7824
FAX 0594-86-7864
（共通）住所 いなべ市北勢町阿下喜31



「元気づくり」は「地域づくり」! いなべから全国へ

元気づくりシステム全国発信事業

事業開始年月日 平成24年2月

こんなところが
「いなべブランド」

進む高齢化。待ったなしの対策は国や全国の自治体における重要政策の一つです。「元気づくりシステム」は、医療費削減や、健康増進・介護予防等の公衆衛生の観点、さらには地域づくりの観点から、住民の力を活用した超高齢社会の切り札として、全国から注目を浴びています。厚生労働省の介護予防モデル事業や総務省の医療軽減研究事業に採択される等、“いなべモデル”の全国展開が加速しています。

事業概要

○元気づくりシステム全国発信

「元気づくりシステム」は、健康を維持し、将来、介護状態にならないようストレッチ体操、ウォーキング、ボール運動等を取り入れた健康増進・介護予防運動を効率的・効果的に市民へ普及させる仕組みです。所定の回数の元気リーダーコースを受講した市民「元気リーダー」が地域で仲間を募って地域の集会所等でプログラムを展開します。また、定着に不可欠な元気リーダーのフォローアップを定期的実施しています。

この「元気づくりシステム」が全国の自治体等で導入され、日本国民のための「元気づくりシステム」へと展開されるよう、次のとおり産官学民で協働し全国発信・普及を進めています。



群馬県川場村で元気づくり体操を披露する元気リーダーら

1 ブラッシュアップ事業

「元気づくりシステム全国普及研究会」の開催を中心に

- ・自治体及び団体に「元気づくりシステム」の視察研修及び導入提案
- ・元気づくりシステム効果の検証、研究
- ・自治体間の住民交流事業の実践、研修

2 普及啓発事業

「元気な地域づくりを考える首長研究会」の開催を中心に

元気づくりシステム関連の全国的なシンポジウムや研究会の開催

- ・シンポジウム

平成 27 年度 福島県伊達市・広島県北広島町で開催

平成 28 年度 実施自治体 4 会場で事業説明会を開催

平成 29・30 年度 実施自治体による日本公衆衛生学会での報告

3 その他 PR 事業等

- ・各省庁の情報収集と PR 活動
- ・健康増進、介護予防、ツーリズム等の関連企業の情報収集や PR 活動
- ・地域包括ケアシステムでの元気づくりシステムの活用の実証(厚生労働省モデル事業 市町村介護予防強化推進事業の実施)
- ・元気づくりシステム実施自治体数 2 市 4 町 1 村 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

評価・
マスコミ
紹介等

・総務省自治体大学校「H27 年度課題研究用事例教材」として採用
・元気づくりシステム紹介、報告関連書籍
「住民組織活動を通じたソーシャルキャピタルの醸成、活用の現状と課題」(日本公衆衛生協会)
「事例を通じて、我がまちの地域包括ケアを考えよう」(㈱日本研究所)

お問合せ

福祉部 長寿福祉課
電話 0594-86-7819
FAX 0594-86-7865
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



住み慣れた地域で 安心した生活を

「福祉委員会」設置促進事業

事業開始年月日 平成29年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、地域の生活支援体制を整備することを目的に、自治会を基本単位として「福祉委員会」の設置を促進しています。生活支援体制整備事業における第2層（地域に応じた日常生活圏域）は小中学校区域で設定する自治体が多い中、住民にとって一番身近なエリアである自治会を基本単位に位置づけ、事業を展開している自治体は全国でも珍しい取り組みです。

事業概要

○地域の課題をみんなで話し合う場

「福祉委員会」は、自治会を基本単位として、地域の人たちが自主的に運営し、地域の課題を地域で話し合う場として設置を行います。福祉委員会の構成メンバーは、自治会役員、民生委員児童委員・主任児童委員、老人会役員、サロンの主催者、地域で福祉活動を担っている人等で、福祉委員長が中心となって、取り組みを進めます。

令和2年4月1日現在、市内50地区で福祉委員会が設置されており、高齢化のピークの入口になる2025年に向けて、市内全地区での福祉委員会設置を目指します。

○取組事例

- ・ 地区内における課題の把握と情報の共有（「支え合いマップ※」の作成による見える化）
- ※地域で支援が必要な人とその人の見守りをしている人の情報を、住宅地図を使って会のメンバーが共有するものです。
- ・ 地区内の課題解決に向けた話し合い
- ・ 地区内での見守りやサロン活動等への働きかけ
- ・ 地区内外の関係者や他の福祉委員会等とのネットワークづくり等



東貝野福祉委員会



東一色福祉委員会



鍋坂区福祉委員会



古田自治会福祉委員会

評価・
マスコミ
紹介等

公益財団法人さわやか福祉財団発行
「さあ、言おう」(2018年5月号)に記事掲載

お問合せ

福祉部 長寿福祉課
電話 0594-86-7819
FAX 0594-86-7865
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



美しい水環境の創出

いなべ市下水道事業

事業開始年月日 いなべ市公共下水道事業 平成7年4月1日
農業集落排水事業 平成3年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

汚水処理人口普及率は、県内の市で第1位、三重県の平均 85.3%を大きく上回る 99.7%と非常に高い数値を誇ります。市民の皆様のご理解とご協力により、早期に整備を行うことができました。高い普及率が示すとおり、快適で衛生的な生活環境が整備され、河川等自然環境の保全や住みやすく自然豊かなまちづくりに大きく貢献しています。

事業概要

○ 広域における生活排水処理 3つの区域でカバー

いなべ市は、公共下水道区域と農業集落排水区域及びそれ以外の区域に分かれて生活排水処理を行っています。公共下水道区域は員弁町・大安町・北勢町内の阿下喜地区・治田地区・山郷地区の一部と藤原町内の員弁川右岸区域（東藤原地区・西藤原地区・白瀬地区・中里地区の一部）を桑名市・四日市市等の北勢7市町が運営している北勢沿岸流域下水道として統合汚水処理を行っています。（供用開始は平成7年4月）

また、農業集落排水区域は北勢町内の十社地区・山郷地区の一部と藤原町内の員弁川左岸区域（立田地区・中里地区の一部）に11か所の処理施設があ

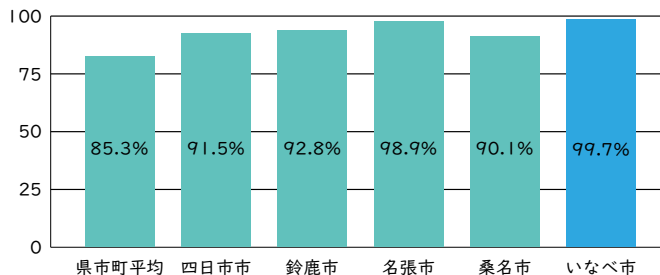
り、汚水処理を行っています。（供用開始は平成3年4月）それ以外の区域は、合併浄化槽による汚水処理を行っています。

○ 高普及率 自然豊かなまちづくりに貢献

これらの整備を行うことにより、ホテルの生息が非常に多く確認できるようになりました。（学校等で様々な環境教育を実践している）

平成16年度と22年度に行われた住民アンケート評価で、まちづくりの中で良くなったものを尋ねたところ、下水道の整備が一番高い結果となりました。また、いなべ市の誇り・魅力の項目では「自然環境」が高く、員弁川の川上に生活を営むものとして環境への意識の表れと考えられます。

■ 汚水処理人口普及率



三重県：生活排水処理施設整備率一覧より（平成31年3月31日現在）

評価・
マスコミ
紹介等

H16、22年度に、いなべ市が実施した「住民アンケート」で、「まちづくりの中で良くなったもの」の項目で下水道整備が一番高い評価を得ました。

お問合せ

水道部 下水道課
電話 0594-72-3515
FAX 0594-72-3748
住所 いなべ市北勢町阿下喜2633



地域のHERO消防団

いなべ市消防団

事業開始年月日 平成22年7月25日

こんなところが
“いなべブランド”

常に新しい団員が加入し活力溢れる「いなべ市消防団」。地元企業と地域が人材発掘に協力し、地域を守る消防団を支えています。火災だけでなく土砂災害、山岳救助、市民への防災訓練や啓発でも活躍。地道な訓練と高い統率力により三重県操法大会で優勝し全国操法大会に出場しました。また、平成24年9月の土石流災害における住民避難の活動等が認められ、国土交通大臣表彰を受けました。

事業概要

消防団は消防署と異なり、地域住民が他に仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域住民の生命と財産を守るために活動しています。

災害が発生した場合は、消防職員と一体となって迅速に消火活動を行います。火災出動のみならず、土砂災害、山岳救助、行方不明者の捜索等の事案にも出動し、市民の安心と安全を守るために昼夜問わず活動しています。いつ起きるかわからない災害に備え日々訓練をし、地域の消防力や防災力を向上させるとともに、市民への防災訓練や啓発を実施し、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。

消防団は地域にとって欠かせない存在であり地域の要です。全国的に適正な消防団員の確保が課題となっていますが、当市では若い団員が常に入団し団員数が確保されています。消防団員のサラリーマン化が進み、ほとんどの団員は企業に勤めながら活動をしています。家庭、企業、地域の理解やサポートがなければ出来るものではありません。家庭、地域、企業が協力し地域を守る消防団を支えています。

2年に1度、消防の操作方法の正確さと速さを競う操法大会が開催されます。平成22年7月の三重県大会では勤め先企業や家庭の理解と協力のもと、厳しい訓練にも耐え、みごとポンプ車の部で優勝し、全国消防操法大会の出場を果たしました。

その年の11月、愛知県蒲郡市で行われた第22回全国消防操法大会へ三重県代表として出場。いなべ市消防団の名を全国に轟かせました。

また、平成24年7月に開催された三重県大会では小型ポンプの部で準優勝に輝きました。



全国操法大会で健闘するいなべ市消防団

評価・
マスコミ
紹介等

- ・国土交通大臣表彰（全国9団体、2個人）（H25年）
- ・三重県操法大会小型ポンプ部門 準優勝（H24年）
- ・三重県操法大会ポンプ車部門 優勝（H22年）

お問合せ

総務部 防災課
電話 0594-86-7746
FAX 0594-86-7859
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



納税意識の高いまち いなべ

市税収納事業

事業開始年月日 平成16年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

市民1人ひとりが、社会の一員として福祉、教育、防災施設等の整った住み易いまち、安心できるまちづくりに深い理解があり、まじめな市民が多いことがいなべ市の特長です。市の予算の根幹を成す市税は、平成15年12月の合併以降、県内の市(14市)の中で収納率は、常に上位を占めています。

事 業 概 要

- 合併以降、毎年三重県内の市(14市)の中で市税の収納率は、常に上位を占めています。(収納率：納付していただくべき課税額に対し、納付された額の割合)
- 納税の方法が、口座振替納税、インターネットを利用したクレジット納税、コンビニ納税と、多彩さも県下一です。
- 毎年市内の小学校に出向いて租税教室を実施し、税金の使われ方等の税に対する理解を深めていただき、将来の納税意識を醸成しています。
- 事情により納められない人には、分割納付等、親切・丁寧な納税相談を行っています。
- 納付されない人に対しては、債権(売掛金、預貯金、給与等)や不動産(土地や建物)、無体財産(電話加入権や出資金)の差押え等、法律に基づいた厳格な差押えを実施しています。

■過去5年間の収納率の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
いなべ市	97.7%	97.8%	97.8%	97.6%	97.7%

お問合せ

総務部 納税課
電話 0594-86-7793
FAX 0594-86-7861
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



どの子どもわかり 参加できる授業づくり

山郷小学校特別支援教育

事業開始年月日 平成16年4月1日

こんなところが
「いなべブランド」

「特別」が見えない「特別支援教育」で「どの子どもわかる・参加できる」授業づくりの実践、「学習の約束を徹底」「教師のわかりやすい話し方」「子どもが退屈しない授業」を合言葉に進める授業改革の取り組みが、NHKのクローズアップ現代で取り上げられる等、全国から高い評価を受けています。

事 業 概 要

本校が目指す特別支援教育は、「どの子どもわかる・参加できる」授業を目指し、「学習で守るべき約束を子どもたちに徹底し」「教師が的確な話し方を心がけ」「子どもが退屈しない」を「授業づくり3つの観点」として、取り組みを進めています。



笑顔あふれる楽しい授業

を見守り、タイミングよく次の指示を出しています。そうすることで「今、何をすべきか」がわかる授業となっています。

○ その3「リズムとテンポ」

子どもが退屈しないよう授業に「流れ」を作ります。テンポよく進むところと、じっくりと考えるところをつくり、メリハリのある授業を実施しています。また、子どもの理解を助けるための視覚的支援となる図・絵・写真等も活用しています。

この3原則のほかにも様々な支援を考え、授業に取り入れています。いわゆる「ユニバーサルデザイン」の授業で、「どの子どもわかる・参加できる」授業づくりをしています。



すっきりした机上で背筋ピン・腕もピン！

○ その1「学習規律の定着」

みんなで学習していく時に守るべき「10の約束」を明示し、どの子ども安心して学習に集中できる環境をつくっています。

○ その2「わかる発問、わかる指示」

教師の指示が明確に子どもに伝わるように「教師の話し方」「指示の出し方」に気をつけています。指示を出したら、子どもがそれを実行したかどうか

評価・
マスコミ
紹介等

- ・「指導と評価（図書文化：H24年4月発行）」をはじめ、多数の教育図書に実践が掲載。
- ・山郷小学校特別支援教育研究報告会（H20、22年度）
- ・三重県教育長学校訪問（H22年度）
- ・NHK「クローズアップ現代」全国放送（H20年度）

お問合せ

教育委員会事務局 学校教育課
電話 0594-86-7844
FAX 0594-86-7871
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



地域と共に育つ学校

コミュニティスクール推進事業

事業開始年月日 石榑小学校 平成18年4月1日 藤原小・中学校 平成31年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

児童生徒や学校を取り巻く問題を地域の課題として捉え、共に解決するため、多くの地域住民が学校運営や学校支援、学校と地域との交流事業に関わっています。また、子どもや学校の課題にとどまらず、地域課題を解決するための協働の場として学校づくり・人づくり・地域づくりに取り組んでいます。

事 業 概 要

○地域が学校運営に参加

- ・いなべ市の指定を受けた学校運営協議会として、学校運営方針の協議と評価
- ・地域と学校の連携を高め協働を図るための調査研究や活動計画づくり

14年の歴史をもつ
石榑小学校コミュニティスクール

○地域が学校を支援

- ・総合学習のゲストティーチャー
- ・住民が先生となり、教える「わくわくスクール」
- ・学習支援、校舎校地の清掃、花木の管理

○地域が児童の安全を守る

- ・「見守り隊」による登下校の同行、出迎え

○地域を誇りに思うイベントを学校と共同開催

- ・石榑の里まつり（毎年11月に実施）
- ・校歌にもある地域の山「竜ヶ岳」登山

○地域資源を活用し交流を充実



「お茶摘み」学習支援



登下校「見守り隊」



児生会「あいさつ運動」



藤原学「地域を知ろう！」

施設一体型藤原小・中学校
コミュニティスクール

○安心して過ごせる学校や地域を目指して

- ・地域と共に児生会の「あいさつ運動」
- ・登下校（通学バス）や地域での見守り

○教育活動・体験活動を応援

- ・生活科、総合学習の支援
- ・読み聞かせや家庭科等の学習支援、収穫祭の開催

○藤原の人・自然・文化が好きになり、誇りに思う子を育てる

- ・藤原学「地域を知ろう・広めよう！」
- ・勤労体験や平和学習
- ・地域の伝統・祭り・行事への参加

評価・
マスコミ
紹介等

- ・総務省の定住自立圏等推進調査事業「学校を拠点とした地域づくり推進事業」採択（H25年）
- ・未来を強くする子育てプロジェクト「未来大賞」「文部科学大臣賞」受賞（H24年）
- ・地域による学校支援活動推進にかかる文部科学大臣表彰（H24年）
- ・子どもたちの“こころを育む活動”「全国大賞」受賞（H24年）
- ・中部の未来創造大賞「大賞」受賞（H23年）
- ・あしたのまち・くらしづくり活動賞（H23年）

お問合せ

教育委員会事務局 学校教育課
電話 0594-86-7844
FAX 0594-86-7871
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



ICT で学びをサポート

学校 ICT 活用事業

事業開始年月日 平成28年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

電子黒板やタブレット端末等の ICT 機器と ICT 機器活用支援員の配置の両面で教育環境整備を進めています。市内小学校では、ICT 機器を用いた授業改善、基礎学力の向上に取り組んでいます。

※ ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術)

※ ICT 機器活用支援員 (教材作成、授業での操作、校内研修会等の支援を行う。)

事 業 概 要

小学校全クラスに電子黒板等を整備すると共に、5、6年生には1人に1台、1～4年生は共用で1人に1台のタブレット端末を配備し、児童にとって興味を持って参加しやすい授業づくりに取り組んでいます。

○ ICT で仲間力 UP!

自分の考えを電子黒板やタブレット端末に映し、指し示しながら伝え合うことができます。また、タブレット端末と電子黒板を接続すれば、全員の考えを提示することもできます。

○ ICT で一人力 UP!

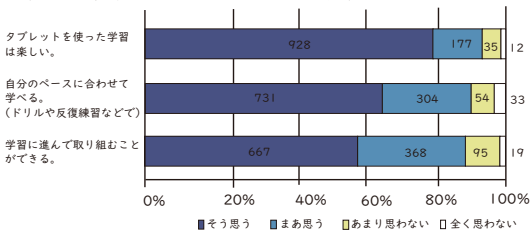
タブレット端末のアプリを使い、算数や漢字等の個別学習に取り組んでいます。学習した子ども達からは、「苦手だった算数ができるようになった」「漢字を覚えやすくなった」といった感想が聞かれ

ます。また、先生用ページでは、個別学習の進度やつまづきを知ることができます。

○ ICT の授業をサポート!

先生や子ども達が ICT を活用した授業ができるように、授業での操作サポート等を ICT 機器活用支援員が行っています。

■平成30年度児童タブレットアンケート結果



タブレットで伝え合い



電子黒板とタブレットで学び合い



タブレットで個別学習



ICT 機器活用支援員がサポート

評価・
マスコミ
紹介等

- ・平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰受賞 (H31年1月15日)
- ・教育家庭新聞にipad整備の記事掲載 (H31年3月4日)
- ・ベネッセ教育総合研究所「VIEW21」にいなべ市ICT教育掲載 (R1年6月25日)

お問合せ

教育委員会事務局 学校教育課
電話 0594-86-7844
FAX 0594-86-7871
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



9年間の学びと育ちを見据えた教育を

小中一貫教育

事業開始年月日 平成29年度

こんなところが
“いなべブランド”

平成 29 年度から各校区において小中一貫教育を導入し、県内外から多くの関係者の視察を受け入れています。「平成 29 年度東海北陸都市教育長会議」や「令和元年度三重県市町等教育長会指導主事会」といった県内外の研究発表会で、事例の研究発表を実施する等、注目を集めています。

事業概要

○ 一貫性・系統性のある教育

「小中一貫教育」とは、義務教育 9 年間の学びと育ちを見据え、発達段階や教育上の課題に応じた一貫性・系統的のある継続的な学習指導や生徒指導を行う教育方法です。

○ 特色のある教育活動

いなべ市の学校教育目標である「いなべの明日を担う心豊かでたくましい子どもの育成」を実現するために、中学校区ごとに校区の特色を活かした「統一教育目標」を掲げ、校区内の小中学校が一貫性・系統性のある教育活動を展開しています。北勢・員弁・大安地区では、小中学校の施設が分離する中で一貫教育を、藤原地区においては、小中学校の施設が一体となったなかで、一貫教育を実施しています。

○ 各校区の教育目標

【北勢中学校区 教育目標】

自分の力で願いをかなえる子の育成
～たくましく学び、豊かに生き合い、
自分の未来を描く教育活動を通して～

【員弁中学校区 教育目標】

未来へ向かってたくましく生きる子
～思考力・判断力・表現力、自己肯定感、
進路意識の向上をめざして～

【大安中学校区 教育目標】

あたたかい心とやり抜く力を育む

【藤原中学校区 教育目標】

学び合い 磨き合い 未来を生き拓く 子ども
～みんなで創ろう 一人ひとりが輝く 藤原小・中学校～



山郷小学校 全校集会写真



員弁西小学校 ドリームマップ作成



大安中学校



藤原小中学校 合同避難訓練

評価・
マスコミ
紹介等

【行政視察受入実績】
蒲郡市、彦根市、甲賀市、桑名市、筑西市、日高市、
犬山市、伊勢市、他(R1年度)

お問合せ

教育委員会事務局 学校教育課
電話 0594-86-7844
FAX 0594-86-7871
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



ふるさとの川にすむ ネコギギを守ろう

員弁川水系ネコギギ保護増殖事業

事業開始年月日 平成18年4月1日

こんなところが
“いなべブランド”

国指定天然記念物ネコギギと自然豊かな河川の再生に向けて、「専門家」「行政」「地域住民」が、交流し合意形成を図りながら、次の世代につながる川づくりと地域づくりの取り組みを継続的に進めることを目指した先駆的な取り組みです。市内河川で保護したネコギギを家系管理しながら水族館等で繁殖しています。飼育下で増殖したネコギギを自然の川へ放流しています。その放流したネコギギが川で繁殖しました。

事 業 概 要

○清流の象徴ネコギギの保護

ネコギギ（ナマズ目ギギ科）は、三重県、岐阜県、愛知県の伊勢湾周辺域河川にのみ分布する日本固有の純淡水魚で、清流の象徴といわれています。

平成2年以降の調査で員弁川水系ネコギギの生息は危機的な状況になっていることがわかりました。そこで、ネコギギ保護の活動を行っています。

○地域に広がる保護活動

ネコギギが生息する地域の小学校が川の環境学習をテーマとした総合学習で、ネコギギについて知る授業を取り入れています。また、PTAが主体となりネコギギの勉強会や川に生息する魚類の親子観察会等を開催。地域ぐるみの活動が芽生え始めています。

○員弁川水系ネコギギ保護増殖事業

- 1 ネコギギの生息状況調査
- 2 員弁川水系ネコギギの飼育増殖
- 3 生息環境調査及び環境改善
- 4 ネコギギの試験放流計画及び実施

いなべ市HP

<http://www.city.inabe.mie.jp/kyoiku/nekogigi/index.html> (ネコギギ保護のための活動)



川で自然繁殖したネコギギの稚魚



ネコギギ飼育作業の様子



十社小学校 ふるさとの川学習

評価・
マスコミ
紹介等

- ・ネコギギサミットin三重(R1年8月31日)
- ・読売新聞(三重)(R1年5月4日)
- ・朝日新聞(三重)(H30年4月20日)
- ・毎日新聞(三重)(H30年3月30日)
- ・読売新聞(三重北勢)(H30年3月29日)
- ・中日新聞(三重)(H30年3月24日)
- ・書籍コラム掲載「淡水魚保全の挑戦」日本魚類学会自然保護委員会(編)(H28年12月14日)
- ・ミヤコタナゴ保全シンポジウム 千葉県立中央博物館(H28年2月20日)
- ・富山県水見市イタセンバラ放流式典(H27年10月3日)

お問合せ

教育委員会事務局 生涯学習課
電話 0594-86-7846
FAX 0594-86-7871
住所 いなべ市北勢町阿下喜31

3 すべての人に
健康と福祉を。4 質の高い教育を
みんなに

プールで育む子どもの元気 ～安全と笑顔～

海洋センタープール事業

事業開始年月日 平成23年4月1日

こんなところが
「いなべブランド」

保育園児を対象にした「アクアリズム運動教室」は、海の無いいなべ市で水に親しむ機会を提供し、体力向上を図っています。小学生を対象にした「水辺の安全教室」は、学校と協力して自分の命は自分で守るという自助意識の向上を図っています。B&G財団の海洋センターの管理運営全般評価で7年連続最高位の特Aを獲得しました。平成25年度新設の「全国指導者会会長賞」（地域指導者会の運営が、他の指導者会の模範となると認められたときや、特に優れた活動等と認められたとき、表彰する）を受賞しています。

事業概要



教室の会場
「員弁運動公園海洋センタープール」



動物ものまね体操で準備体操



アクアスタディ（ビート板）



宝物拾い

研修、訓練を受けてインストラクターとなった市の職員が、各教室を開いています。

○アクアリズム運動教室

子どもたちの体力が低下傾向にあります。そこで、保育園児（年中、年長）を対象に、「アクアリズム運動教室」を開催しています。プールでのあそびやリズム運動等を通して、水に親しみ楽しみながら、体力の向上を図ります。さらに、協調性や思いやり、順番を守る等の規律性も育みます。

○水辺の安全教室

水の事故をゼロにするため、職員（インストラクター）が学校へ出向き、「水辺の安全教室」を開催しています。

“水に近づかない”ことを教えるのではありません。水の安全について正しい知識を得て、水辺での活動が楽しいものになるため、いざという時に誰にでもできる対応を学習します。

指導内容は、着衣泳、ペットボトル等身近なものの浮遊体験、ライフジャケット浮遊体験等です。



背浮きの練習



水辺の安全紙芝居



ペットボトル浮遊体験



落水体験
（落ちたらすぐ背浮きの練習）

評価・
マスコミ
紹介等

- ・NHK「ほっとイブニングみえ」で水辺の安全教室紹介(H26年)
- ・B&G財団 特A評価(H22年～H28年)
- ・B&G財団 平成25年度全国指導者会会長賞受賞

お問合せ

教育委員会事務局 生涯学習課
 電話 0594-86-7846
 FAX 0594-86-7871
 住所 いなべ市北勢町阿下喜31



全国初！ 楽器を寄附するふるさと納税

楽器寄附ふるさと納税事業

事業開始年月日 平成30年10月10日

こんなところが
“いなべブランド”

返礼品で注目されるふるさと納税に対して、そもそも寄附とは何かを問いかける全国初の事例。楽器不足で困る中学校・高校と、眠ったまま使われていない楽器を持つ人たちを、ふるさと納税が結びつけます。

返礼品は子どもたちの喜ぶ声と、寄附楽器で演奏するコンサートの招待状。いなべ市発案の心温まるふるさと納税が全国を席卷しています。

事業概要

「楽器寄附ふるさと納税」は、“休眠楽器”の寄附を受け入れる、全国初の取り組みです。

この制度では、全国に眠っている使われなくなった楽器を寄附いただき、楽器が不足しているいなべ市の中学校や高校へ届けます。寄附を希望する人が、市の専用サイトから申し込むと、市と連携する株式会社マーケットエンタープライズが楽器の査定を行い、査定額に納得していただけた場合、寄附が成立します。楽器は市内の学校へ届けられ、寄附者は査定額に応じて、税金控除が受けられます。

一般的なふるさと納税と違って、返礼品はありません。子ども達からお礼の手紙をお送りするのとともに、寄附楽器を使用したコンサートへの招待を行っています。また「感謝の声」として専用サイトで画像を添えて紹介しています。

また、この制度に共感いただいた自治体からたくさんのお問合せがあったため、平成31年（令和元年）4月から全国的な展開が始まりました。令和2年3月末現在で、北海道から九州まで、全国で6市町が参画されています。

「楽器が足りない」という、市内の学校の困りごとを解決するだけでなく、自分や家族が大事にしてきた楽器を、想いとともに次の世代につなげるとい

う新しい寄附文化が醸成されつつあります。令和2年3月末現在で、74の楽器が大安中学校、いなべ総合学園高等学校に届けられました。



楽器寄附ふるさと納税専用 Web サイト



寄附された楽器と学校の生徒たち

評価・
マスコミ
紹介等

伊勢新聞、中日新聞、朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞、毎日新聞、日本教育新聞、自治日報、月刊ガバナンス、週刊東洋経済、その他テレビ局、サイト記事等多数

お問合せ

1 企画部 政策課
電話 0594-86-7741
FAX 0594-86-7858
2 教育委員会事務局 学校教育課
電話 0594-86-7844
FAX 0594-86-7871
(共通)住所 いなべ市北勢町阿下喜31



世界のプロサイクリストが集うまち いなべ

ツアー・オブ・ジャパン (TOJ) いなべステージ

事業開始年月日 平成27年5月19日

こんなところが
「いなべブランド」

世界最高峰の自転車ロードレース、ツール・ド・フランスの出場チームも参加する、国内最高峰のステージレース、ツアー・オブ・ジャパン。いなべ市では地域の団体や自治会と協力して実行委員会を結成し、平成 27 年から開催しています。平成 31 年（令和元年）の観客数は 20,000 人を記録。

豊かな自然を活かした起伏に富んだコース設定で、世界に「INABE」の名を届けています。

事 業 概 要

現在、日本国内には 6 つの UCI（国際自転車競技連合）公認の国際ロードレースがあります。

このなかでも TOJ は、8 日間 8 ステージという最大の大会規模を誇り、全体を通じた観客数が 35 万人を超える国内最高峰の国際自転車ロードレースイベントです。

「TOJ いなべステージ」は、いなべ市の自然豊かで起伏に富んだ道路環境を利用したコースを設定しています。阿下喜温泉前をパレード走行しながら、周回コース（1 周 14.8km, 8 周）へと進み、最大勾配 17% の激坂を含む山岳ポイントやテクニカルな下り、ワインディングロード等序盤から難所が続き、フィニッシュ前 1km 付近からの通称「イナベルグ」と呼ばれる道幅の狭い急坂区間もあり、展開の読めない難コースとして知られています。

国際大会の開催を契機に、いなべ市を訪れるサイクリストも増加し、「自転車のまち いなべ」としてのブランドづくりの大きな役割を果たしています。

また、大会の開催前には、地域の小学校で交通安全教室（ウィーラースクール）を実施し、「自転車での交通ルールの遵守」について指導する等、地域貢献の一端を担っています。

今後は、2021 年の三重とこわか国体の自転車ロードレース会場に決定したことにより、さらなる「自転車の聖地」としての魅力づくりを行います。

いなべステージ公式サイト

<http://www.inabe-stage.jp>



レースの様子



急坂を上る選手たち



ウィーラースクール



選手とファンとの撮影

評価・
マスコミ
紹介等

- ・各社新聞報道（中日新聞・朝日新聞等）（H31 年 1 月～R1 年 5 月）
- ・TV 報道（H31 年 2 月～R1 年 6 月）
- ・BS 日テレ「ツアー・オブ・ジャパン」総集編（R1 年 6 月 29 日）等

お問合せ

教育委員会事務局 国体推進室
電話 0594-86-7847
FAX 0594-86-7871
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



「いなべの里の蕎麦」 全国への挑戦

いなべブランド創出事業

事業開始年月日 平成17年4月1日

こんなところが
「いなべブランド」

おいしいそばが育ついなべの自然環境下、55haの作付面積は三重県No.1。そのほとんどは、契約栽培により名古屋市の大規模な手打ちそば店や神戸の手打ちそばの名店で使われています。一般向けとしては「そば祭り」や「そば打ち体験講座」等を開催。交流人口を増やし、市内にはそばが特産品であることを誇りつつ地域おこしと位置づけて“そば打ち人口日本一”を目指しています。

事業概要

○目指せ！いなべのトップブランド

美味しいそばが育つ条件は、そばの花が咲く時期から実が大きくなるまでの気候が、冷涼で昼夜の気温差が大きいことです。当市はそばが実をつける秋頃がこの気候と非常に合致しています。またそばは水が大の苦手です。灌漑用の溜池に頼る水田農業を行う地域では、この水の不便さがそば栽培に好都合。こうした状況の中、いなべ市は平成14年度にそばの生産を開始。20年度には生産農家8軒が集まり、いなべ市そば生産部会を設立。市の重要な農産物と位置づけ、当市のトップブランドとして「いなべの里の蕎麦」を全国へ発信しています。

○そばで地域おこし

そばには人と人のつながりを育む不思議な魅力があります。当市では、そば打ちを楽しむ人々やこれを指導する人が続々と増えてきており、手打ち技術の研鑽を行っています。また、全国でも数少ないそば打ちの技術者を評価する段位認定会を行い、新そばの収穫の時期には、全国から名人を招き、そば打ち指導等で交流する「そば祭り」を開催しています。さらに、そば打ちをこよなく愛する「愛好会」が誕生

する等、そばで交流を広げようとする市民が増えています。今後も“そば打ち人口日本一”を合言葉とし、「そばといえばいなべ」と言われるよう取り組みを進めていきます。



そば畑



そばの花と手打ちそば



全国優良生産表彰



そば祭り そば打ち体験



そば打ち名人



そば祭り 開会式

評価・
マスコミ
紹介等

・H31年度 全国素人そば打ち段位認定いなべ大会開催(後援:一般社団法人全麵協)
・H20年度 全国そば優良生産表彰受賞(財団法人日本蕎麦協会)

お問合せ

農林商工部 獣害対策課
電話 0594-86-7832
FAX 0594-86-7869
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



青川の清い流れと緑で…元気注入!

青川峡キャンプパーク事業

事業開始年月日 平成15年4月12日

こんなところが
“いなべブランド”

頼れるキャンプ場スタッフが常駐し、ベテランキャンパーはもちろん、充実の設備で初心者や小さな子連れ家族にも優しい日本屈指の高規格オートキャンプ場です。各種レンタル用品が揃い、初めてのキャンプや忘れ物をして安心。今人気のソロキャンプデビューにも最適です。団体向けのフィールドや、日帰り利用できる全天候型バーベキュー場等を備え、キャンプの楽しさとともに日常にアウトドアを取り入れたライフスタイルの提案をしています。

事業概要

○ “おもてなし上手” なキャンプ場

スタッフのサポートと充実した設備で、初心者やファミリーも安心、快適に自然の中で楽しめます。

平成15年オープン、鈴鹿山脈の麓にある青川峡キャンプパークは、西日本屈指の人気キャンプ場として全国にも広く知られています。炊事場やシャワー室、清潔なサニタリー、それぞれの好みに合わせて宿泊できる多彩なコテージサイト、キャンプスタイルに合わせたオートキャンプサイト、雨でも安心な炭火焼ハウス（全天候型バーベキュー施設）等施設が充実しています。カラフルな色で目をひく CABIN'G サイトは小屋とウッドデッキを組み合わせたサイトで、他にはない、斬新で遊び心あふれるキャンプが体験できます。（総テントサイト区画 42 区画 建物類 22 棟）

鈴鹿山脈から流れる清流“青川”はもちろん場内には小川も流れているので、小さな子どもも川遊びが楽しめます。また、季節に応じたクラフトや自然体験プログラムも充実し、クリスマスキャンプや周年イベント等、こだわりの内容で年間通してイベントを開催し

ています。

センターハウスにはアイテムを豊富に揃えたショップ、手ぶらでも道具が全てそろえられるレンタルルーム、浴場等が備わり、キャンプ初心者やこれから始める人を万全のサポートでお待ちしております。

「ツアー・オブ・ジャパン (TOJ) いなべステージ」の選手宿泊所等、いなべ市のかかわる事業と連携し、県内外の来場者を迎え入れる拠点にもなっています。

アウトドア専門誌や、情報番組等にもよく取り上げられ、GW や夏休み、週末はもちろん、1年を通して県内外からの来場者で大変なにごわいぶりです。設備の充実、清潔さ、サイトの広さ、周辺の自然、スタッフの好感度、どれをとっても満足のいくキャンプ場です。

青川峡キャンプパーク

<http://www.aogawa.jp>

いなべ市北勢町新町 614

電話 0594-72-8300



新たにオープンした CABIN'G サイト



テントサイト



キャンプ用品のレンタルルーム



施設内の小川

評価・
マスコミ
紹介等

- ・東海テレビ「ニュースone」(H31年2月21日) 他テレビ、アウトドア雑誌にて多数紹介。
- ・BE-PAL ほんとうに気持ちいいキャンプ場100選出 (2016/2017/2019版)
- ・オートキャンプ専門誌“ガルヴィ”人気キャンプ場ランキング 西日本部門2019年、2020年1位

お問合せ

農林商工部 商工観光課
電話 0594-86-7833
FAX 0594-86-7869
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



農業公園発！ スローライフとロハスな暮らし

いなべ市農業公園事業

事業開始年月日 平成15年4月1日

こんなところが
「いなべブランド」

東海地区最大級の梅林公園と牡丹園！

地域の高齢者たちが知恵を出し合い、ゆっくり手作りで作り上げてきた農業公園。「見る、遊ぶ、食べる」といったスロースタイルや、四季を体感できる癒し空間です。2月末から3月にかけて開催される「梅まつり」は、80,000人もの入場者数を誇ります。

事 業 概 要

いなべ市農業公園は、東海地区最大級で約100種4,000本の梅の花がある梅林公園と、牡丹園、パークゴルフ場、農業公園レストラン「フラール」等があるエコ福祉広場の2施設を合わせて農業公園と呼んでいます。

38ヘクタールの梅林公園では、3月に「梅まつり」、6月に「梅の実もぎとり体験」や「梅ジュースづくり体験」を開催します。

18ヘクタールのエコ福祉広場では、4月下旬から5月上旬にかけて「ぼたんまつり」を開催し、また、子どもからお年寄りまで親子3世代で楽し

めるパークゴルフ場、その他子ども広場、お食事は、安全安心な地元野菜を中心としたビュッフェスタイルのレストラン「フラール」があり、四季折々が楽しめる公園です。

地域の高齢者たちが知恵を出し合い、ゆっくり手作りで作り上げてきた農業公園で「見る、遊ぶ、食べる」といったスロースタイルを体験でき、癒し空間となっています。

いなべ市農業公園

三重県いなべ市藤原町鼎 3071

電話 0594-46-8377



梅まつり（3月）



ぼたんまつり（4月下旬～5月上旬）



梅の実もぎとり体験（6月下旬）



梅まつり（見晴らし台）



パークゴルフ場



農業公園レストラン「フラール」

評価・
マスコミ
紹介等

- ・NHK、CBC他3社で報道（H31年3月）
- ・オーライ！ニッポン大賞審査委員長賞受賞（H22年）
- ・花の観光地づくり大賞審査委員特別賞受賞（H21年）
- ・立ち上がる農山漁村受賞（H19年）

お問合せ

農林商工部 商工観光課
電話 0594-86-7833
FAX 0594-86-7869
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



まちづくりの拠点施設 にぎわいの森

「にぎわいの森」整備事業

事業開始年月日 令和元年5月18日

こんなところが
「いなべブランド」

いなべ市は令和元年5月、新市庁舎建設に合わせ、敷地内に名古屋・大阪から高い技術と独自の発想を持つ実力店が集う「にぎわいの森」を整備しました。オープン当初からの観光入込客数は、年間44万人を超え、全国でも例の無い取り組みとして注目を浴び、多くの自治体・団体が視察に訪れています。森林を有効活用した本施設では、地形を利用した季節風を取り入れ、雨水、地中熱といった自然エネルギーも活用しています。

事業概要

○地元の素材を活かし、地域社会へ貢献する

農と食をテーマとした施設内には、業界屈指の5つの飲食店と1つの試験農園があります。各飲食店は、地元の人々と連携しながら、野菜やお米等の地元産品を活かした独自の商品を開発・提供しており、地域資源のブランド化や販路開拓等の地域活性化につながる取り組みを実施しています。

また、地域に雇用を生み出すと共に、次代を担う人材育成にも積極的に取り組んでおり、ひとつの場としての機能も期待されています。

○新しいまちづくり

にぎわいの森への集客は目覚ましく、多くの経済効果もたされています。しかし、にぎわいの森の真の目的はまちづくりのきっかけを創ることにあります。にぎわいの森で市民が様々な催しに参加したり、自らの企画を実現したり、仲間をつくったりすることで、都会にはない豊かな暮らしを実現する。若者が可能性を見出し、生業をおこし定住する。その後押しを、行政と民間が一緒になって進める。そんな、新しいまちづくりの形を実現します。



にぎわいの森施設内風景



試験農園 ブルーチップファーム



魔法のばん



r 26 (エールヴァンシス)



食肉加工屋 FUCHITEI (フチテイ)



ロブいなべヒュッテ



キッチンエビオいなべヒュッテ

評価・
マスコミ
紹介等

・CBCテレビ「花咲かタイムズ」(R1年6月16日)
・中京テレビ「前略、大とくさん」(R1年5月19日)
・NHK名古屋「まるっと!」(R1年5月17日)
など、TV16件、雑誌20件、ラジオ2件(R1年度)

お問合せ

企画部 政策課
電話 0594-86-7741
FAX 0594-86-7858
住所 いなべ市北勢町阿下喜31

ブランドの目的

既存ブランド事業

いなべ市で終了した
ブランド事業

いなべ市について



リンクでつなげよう 市民の輪

いなべ市情報誌 Link [リンク]

事業開始年月日 平成15年12月1日

こんなところが
“いなべブランド”

思わず手に取ってしまう「表紙」デザイン、次のページをめくらずにはいられない、最後まで読ませてしまう「特集」、必要な情報をわかりやすく提供する「Pick Up」と「くらしの情報」コーナー等、“伝わる広報”を目指しています。これらが評価され、平成31年全国広報コンクールでは、広報写真部門（組み写真部）で入選、平成31（令和元）年度三重県広報コンクールでは広報誌部門（市部）、広報写真部門（組み写真部）、広報写真部門（1枚写真）でそれぞれ特選に選ばれました。

事業概要

いなべ市の広報誌は、平成15年12月の合併以来、きずな・輪・つながりを意味した「リンク」という愛称で、毎月1回、約1.3万部の発行を続けています。令和2年8月号で第200号を迎えます。

編集作業を市の職員が行い、市民と関わりの持てる企画・取材をしています。地元の高校の協力を得て、令和元年に表紙のロゴデザインのリニューアルを実施しました。また、ユニバーサルデザインの書体（UD

フォント）を使用することで、誰にでも読みやすい広報誌を目指しています。

発行に合わせてインターネットでもご覧いただけるよう、ホームページに掲載しているほか、多言語・音声読み上げ機能を備えたスマートフォン向けアプリ「カタログポケット」を導入し、より多くの人に情報が届くよう取り組みを進めています。



表紙



特集



いきいきマイタウン



地域をめぐるさんぽ道



カタログポケットの紹介

評価・
マスコミ
紹介等

・全国広報コンクール
H31年広報写真部門（組み写真）入選
H30年広報写真部門（一枚写真）入選 3席
H29年広報写真部門（一枚写真）入選

・三重県広報コンクール

	広報紙	1枚写真	組み写真
H31（R1）年度	特選	特選	特選
H30年度	入選	入選	特選
H29年度	特選	特選	特選

お問合せ

企画部 広報秘書課
電話 0594-86-7740
FAX 0594-86-7857
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



YouTube で シティプロモーション

いなべ市ホームページ 映像配信

事業開始年月日 平成19年10月1日

こんなところが
“いなべブランド”

無料で動画投稿ができるサイト「YouTube」を活用した映像配信。YouTube に投稿した動画やタイトル、解説文等を市ホームページに表示します。ページの管理に手間をかけることなく、世界に向け市の魅力を発信できます。この YouTube を活用した映像配信の取り組みは全国で2番目、自治体ホームページとの体系的な連携は全国初の取り組みとして NHK「おはよう日本」で紹介されたこともあります。

事業概要

いなべ市のホームページでは、YouTube に投稿した最新映像をはじめ、これまで投稿された映像のキャプチャ画像がズラリと表示されます。

各動画には、新着情報のほか、「いなべ10」、「ふ

れあいネット in いなべ」「東近江市スマイル観光」「PICK UP! INABE GUIDE」等のカテゴリに分け、豊富な動画を楽しむことができます。



いなべ市ホームページ



YouTube サイトのいなべ市チャンネル

評価・
マスコミ
紹介等

・全国広報コンクール映像部門
H29年 入選

・三重県広報コンクール映像部門

特選	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H21 年度
入選	H31 (R1) 年度	H30 年度	H26 年度	H23 年度

お問合せ

企画部 広報秘書課
電話 0594-86-7740
FAX 0594-86-7857
住所 いなべ市北勢町阿下喜31



先進的文書管理 「ファイリングシステム」

文書管理適正化事業

事業開始年月日 平成17年3月1日

こんなところが
“いなべブランド”

「ファイリングシステム」は個別フォルダとキャビネットを活用した文書管理システムで、一般的な簿冊によるものと比較して、検索性・セキュリティに非常に優れたシステムです。この「ファイリングシステム」は、平成23年4月に施行された公文書管理法に基づくガイドラインに則したもので、県内の自治体では、平成16年度にいなべ市が初めて導入しました。また平成30年2月には、文書管理ソフトを導入しました。これにより文書の発生から廃棄まで一元的に管理を行えるようになりました。

事業概要

- ① 「ファイリングシステム」は課で文書を集中管理します。文書は、すべて個別フォルダに入れられ、キャビネットに階層化されて保管されます。
- ② 文書管理ソフトを使用し、文書の発生から、保管、保存、廃棄までを記録する「ファイル基準表」を年度ごとに作成します。過去の文書であっても、誰でも、その所在がすぐに分かります。
- ③ キャビネットの上段に入れられた文書は、翌年度には下段に、翌々年度には書庫に整理されながら移動します。
- ④ 「ファイリングシステム」では事務用品も一括管理するため、執務環境も改善されました。毎日の終業時には、キャビネットを施錠して、情報漏えいの防止にも努めています。

【導入前】



書類があちこちに置かれています。



簿冊に綴じ込まれた文書は、担当者でも探すのがたいへんでした。

【導入後】



担当者でなくても、必要な文書をキャビネットからすぐに探し出せます。



文書管理ソフトで文書の発生から廃棄まで正確に管理できます。



2年以上前の書類も書庫で整理して保存されているため、すぐに取り出せます。



スッキリとした執務環境で、仕事の効率も上がります。

評価・
マスコミ
紹介等

【行政視察受入実績】
島根県安来市 (H25年)
高知県四万十町 (H24年)
三重県鳥羽市 (H24年)
静岡県菊川市 (R1年)
愛知県常滑市 (R1年)

お問合せ

企画部 法務情報課
電話 0594-86-7743
FAX 0594-86-7858
住所 いなべ市北勢町阿下喜31

THIS IS INABE BRAND

終了した
いなべブランド
事業

みんなでサポート「働く笑顔」

障がい者就労支援事業

事業終了年月日 平成 27 年 3 月 31 日 お問い合わせ 福祉部 社会福祉課 0594-86-7816

※平成28年度に就労支援事業所が出来たことから、事業を移管しました。
相談業務は「障がい者相談支援センターそういん」に委託しています。

事業概要

一般就労が難しいとされる障がい者の就労を支援するため、仕事を体験する機会（職場実習の場）を確保し、就職、復職、職場適応に向けた支援を行います。職場実習をとおして、さまざまな仕事の経験や働く準備をすることで、社会的自立を目指すとともに、地域で豊かにいきいきとした生活を送るための支援をします。

ホタルの里づくり

立田小学校ホタルの里づくり事業

事業終了年月日 平成 29 年 3 月 31 日 お問い合わせ 教育委員会事務局 学校教育課 0594-86-7844

※立田小学校は小学校の統廃合により、平成29年3月31日に閉校しました。

事業概要

立田小学校では、児童の主體的な探求活動として「ホタルの里づくり」に取り組んできました。揖斐川の源流の一つである赤尾川、地域の用水やビオトープの研究、幼虫の繁殖・放流等を行い、ホタルが育つ環境保全を地域とともに進めます。

学校と地域が取り組む花壇づくり

中里小学校花づくり事業

事業終了年月日 平成 29 年 3 月 31 日 お問い合わせ 教育委員会事務局 学校教育課 0594-86-7844

※中里小学校は小学校の統廃合により、平成29年3月31日に閉校しました。

事業概要

中里小学校は、約 40 年間 FBC（フラワーブラボーコンクール）に参加しています。小学 5 年生の児童が中心となって活動し、発送された種のみを使用して、コンクールに臨みます。児童が育てた苗を使って、保護者や地域の人々をはじめ老人ホーム等へも花を届ける等、地域との交流を深めています。

できることから始める環境教育

員弁中学校環境教育推進事業

事業終了年月日 平成 29 年 3 月 31 日 お問い合わせ 教育委員会事務局 学校教育課 0594-86-7844

※H29年度をもって、生徒主導による環境教育は終了しました。

事業概要

夏季に、校舎南側につる性の植物を育て、日陰を作るとともに、気化熱により熱放射を抑制し、室内温度を下げています。この「緑のカーテン」は、教室環境を整えるとともに、安易に電気エネルギー等を利用せず自然の力を活用することを通して「自分でできること」を考え、「持続可能な社会づくり」の一端を担う生徒を育てます。

全国1位※の電子市役所

※人口5万人未満の自治体で

電子市役所推進事業

事業終了年月日 平成 29 年 3 月 31 日 お問い合わせ 企画部 法務情報課 0594-86-7743

※ランキングが古いデータであることから、既存ブランド事業からページを移行しました。

事業概要

いなべ市では、HP から電子申請、クレジット納付や公共施設の予約等各種オンラインサービスが利用できる等、電子市役所として利便性を高めています。また、生活に役立つ情報を配信するメール配信サービスや、平成 26 年度からは、全国のコンビニエンスストアで住民票や納税証明書等を取得できるサービスも開始しました。市役所内においてもセキュリティポリシーの策定やセキュリティ教育等の情報漏洩対策を実施し、全国的に評価されています。

三重県モデル いなべの集落農業

集落組織づくり推進支援事業

事業終了年月日 平成 22 年 3 月 31 日 お問い合わせ 農林商工部 農林課 0594-86-7831

※事業実施により、集落支援農業体制が確立されたため、既存ブランド事業からページを移行しました。

事業概要

農事従事者の高齢化、耕作放棄地の増加、若者の地域離れという課題を解決するため、いなべ市独自の集落営農の仕組みをつくり上げました。市、JA、県の担当者が市内全ての集落に出向き、地域住民と各集落農業の現状と将来像を共有する「座談会」を平成 16 年に、集落の農業を全員で力を合わせて守っていく仕組みである「集落ぐるみの農業生産体制」を確立するため、いなべ市「集落組織づくり推進支援事業」を平成 17 年度からスタートしました。

THIS IS INABE BRAND

いなべ市に
ついて

いなべ市について



三重県の北の玄関口に位置するいなべ市は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいただき、田園地帯が広がる緑豊かなまち。花の百名山「藤原岳」、笹原の「竜ヶ岳」、滝巡りの「宇賀溪」、西日本屈指の人気を誇る「青川峡キャンプパーク」等、豊かな自然が育むアウトドアスポットが満載です。また、日本でたった3路線しかない線路幅762ミリの「北勢線」が走るまちでもあります。

1世紀の時を刻むように、かわいい黄色の電車はのんびりと走り続けています。

ブランドの目的

既存ブランド事業

いなべ市
終了した
ブランド事業

いなべ市について



アルファード (ALPHARD)



いなべ市は良質米やお茶の産地として知られる一方で、自動車関連企業等も立地し、活力のあるまちとして発展を続けています。令和元年には、新庁舎及びびにぎわいの森が開業する等、更なる飛躍が期待されています。

いなべ市は、市民がいきいきと暮らす活気に溢れたまちです。今後も地域を誇りに思い、ふるさとへの愛着を育むまちづくり、市民が主役のまちづくりを進めていきます。

いなべ市のすがた

項目	単位	いなべ市	調査年又は調査年度	備考		
総面積	k m ²	219.83	平成26年度	一部境界未定のため概算数値です。		
総人口	人	45,815	平成27年	平成27年国勢調査		
人口密度	人/k m ²	208	平成27年	総面積1 k m ² 当たり 平成27年国勢調査人口÷総面積		
人口増減	%	100.2	平成27年	平成27年国勢調査人口÷ 平成22年国勢調査人口		
世帯数	世帯	17,106	平成27年	平成27年国勢調査		
1世帯当たり人員	人	2.68	平成27年	平成27年国勢調査人口÷ 平成27年国勢調査世帯数		
財政	決算額	千円	28,539,546	平成30年度	平成30年度一般会計歳出決算額	
	標準財政規模	千円	13,097,392	平成30年度		
	財政力指数		0.826	平成30年度		平成30年度地方財政状況調査
	経常収支比率	%	87.7	平成30年度		
	実質公債比率	%	7.2	平成30年度		平成30年度健全化判断比率
出生数	人	288	平成31年 (令和元年)	住民基本台帳人口 (平成31年1月1日～ 令和元年12月31日)		
死亡数	人	544	平成31年 (令和元年)			
転入者数	人	2,764	平成31年 (令和元年)			
転出者数	人	2,352	平成31年 (令和元年)			
事業所	事業所数	事業所	1,841	平成28年	平成28年経済センサス活動調査	
	従業者数	人	28,960	平成28年		
農業	農家数	戸	1,001	平成27年	平成27年農林業センサス	
	耕地面積	ha	2,127	平成27年		
工業	事業所数	事業所	172	平成30年	平成30年工業統計調査 (従業者4人以上の事業所)	
	従業者数	人	18,339	平成30年		
	製造品出荷額等	万円	141,597,665	平成30年		
商業	商店数	事業所	330	平成28年	平成28年経済センサス活動調査	
	商業従事者数	人	2,058	平成28年		
	年間商品販売額	百万円	44,698	平成28年		
学校	小学校数	校	11	平成31年度	平成31年度いなべ市教育要覧	
	小学校児童数	人	2,337	平成31年度		
	中学校数	校	4	平成31年度		
	中学校生徒数	人	1,200	平成31年度		
医療	病院数	院	4	平成30年度	令和元年度桑名保健所年報 (平成30年度実績)	
	一般診療所数	所	25	平成30年度		
	歯科診療所数	所	16	平成30年度		
	医師数	人	80	平成28年		
	歯科医師数	人	19	平成28年		
	看護師数	人	439	平成28年		
	准看護師数	人	125	平成28年		
	薬剤師数	人	90	平成28年		

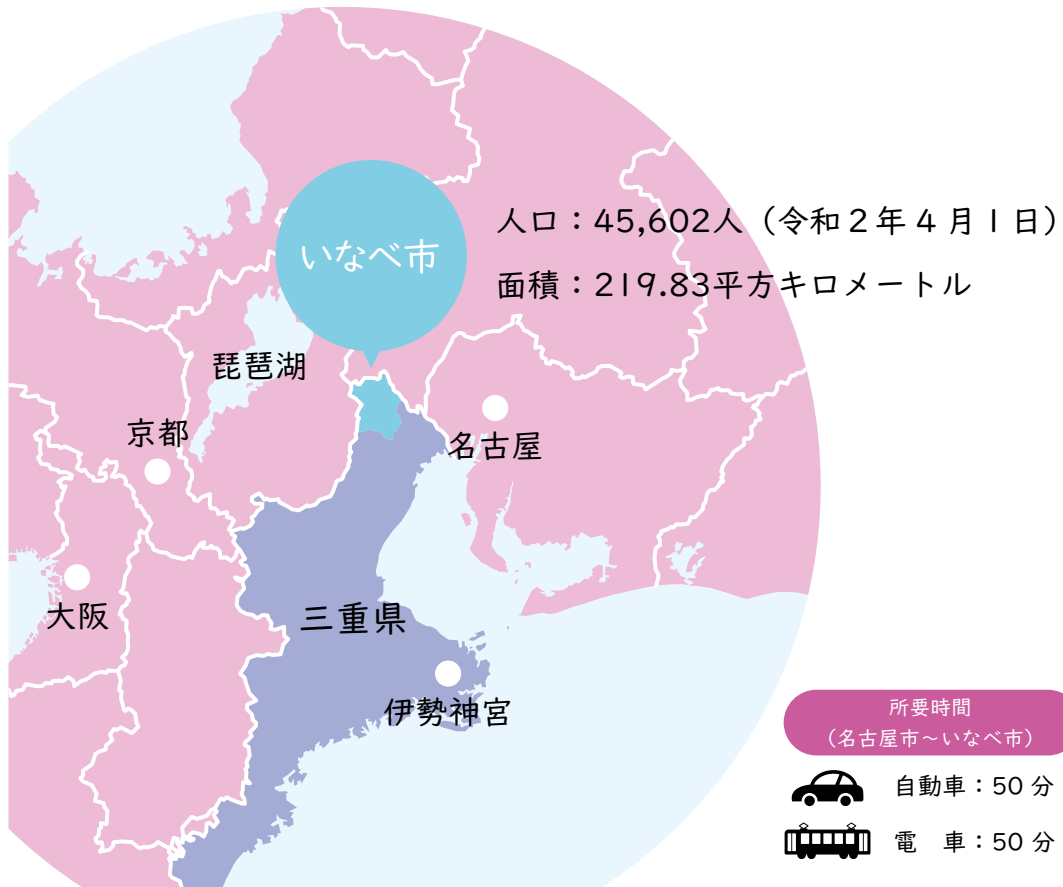
年は暦歴（1月から12月）、年度は会計年度（4月から翌年3月）を示します。

ブランドの目的

既存ブランド事業

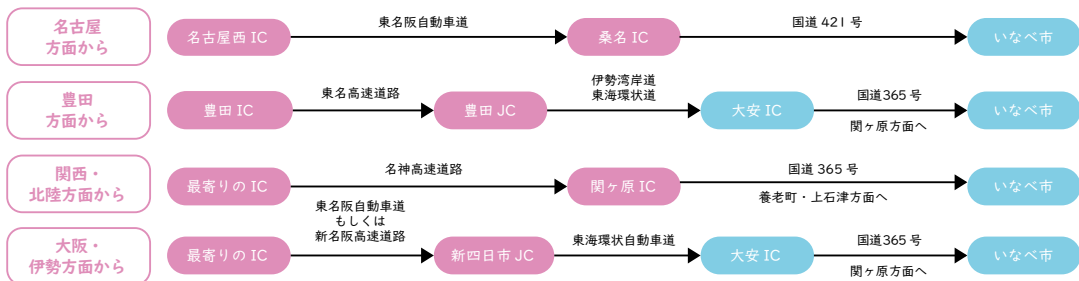
いなべ市終了したブランド事業

いなべ市について

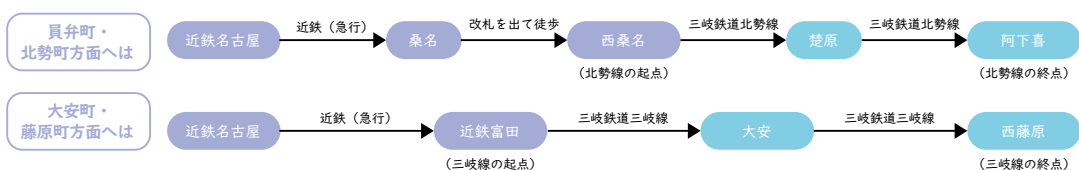


交通のご案内

お車のご利用



電車のご利用



★時刻等についてのお問合せ

・近鉄桑名駅 電話 0594-22-0045 ・近鉄富田駅 電話 059-365-0300 ・三岐鉄道 電話 059-364-2141 ・三重交通 電話 0594-72-2469



INABE BRAND 2020

発行日 令和2年7月1日

発行 いなべ市

編集 企画部政策課

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜 31 番地

電話 0594-86-7741

HP <https://www.city.inabe.mie.jp/>





いなべブランド
since 2005